



DigiFi クローズアップ 2013 Winter PC オーディオ時代の注目製品レビュー

## ADL



ポータブルヘッドフォンアンプ

### ADL STRIDE II

K21.940

●接続端子: 入出力ステレオミニコネクタ (3.5mm) ●最大出力: 12 Ω / 75mW, 16 Ω / 94mW, 32 Ω / 110mW, 56 Ω / 98.6mW, 300 Ω / 23mW, 600 Ω / 10mW ●再生周波数特性: 20Hz ~ 20kHz ●充電方式: USB (約5時間), 別売充電ユニット使用可 ●連続再生時間: 50時間 ●寸法 / 質量: W42.2×H26×D123.4mm / 約100g

## 低域のふんばりが効いたサウンド 上位機種 CRUISE と 中身が同等のお買い得モデル

Text: 野々村文宏

ADL (Alo Design Lab) は、電源ケーブルやアクセサリメーカーのフルテックが、おちに PC オーディオ市場にコストパフォーマンスの高いオーディオ機器を送り出すブランドである。

STRIDE II はいわゆるポータブル DAC 内蔵ポータブルヘッドフォンアンプで、比較的価格帯の機種。同ブランドには上位機種として、HIFI誌1月号「ヘッドフォンアンプ5万円以下」の価格帯で第1位の高評価を得た、CRUISEがある。CRUISEは駆動対策としてステンレスの絶縁仕上げボディの外装にカーボン繊維を巻いているが、その下の STRIDE II はアルミ合金のボディ。2型になって、それまでアールを備えていた魚の切り身のような筐体がフラットになった。しかしその他は CRUISE とたいがい変わらず、したがって、考えようによっては STRIDE II はお買い得な機種なのである。

試聴ヘッドフォンには、高感度で持ち歩きに便利なフォー

カル社 Spirit One を使用した。イーン/11XJ では、ほんのほんの少しノイズが乗るかな、と感じたが、一般的には気付かないレベル。ヴォニシウスでは、ボタンの制御を上手に表現するが、声はゆやせ行が強調されて聴こえる。96kHz / 24ビットのトーンゼンゲルヘッドでは、重低音の底の底のような音圧がヘッドフォンの振動機を通じて私の鼓膜に伝わってきた。ボタンアンプでここまで低域のふんばりが効くのか、とちょっと感服した。

フォーカル社 Spirit One の感度は 104dB と高いので、アンプのバウマージンはじゅうぶんで、耳が痛くなる音程まで上げられる。給電は、USBバスパワーと、別売の充電ユニットを使って内蔵のリチウムイオンバッテリーに充電の2種類。フル充電でなんと約80時間の連続再生が可能と驚異的な性能を誇る。あらためて、ADLブランドのコストパフォーマンスの高さに感服する次第であった。